特長

1。純粋な正弦波出力

2 °CPU管理、インテリジェント制御、モジュール設計

3 °LCDとLED表示は、パラメータとインバータ動作状態を表示することができます。

4。ユーザーは、スリープモードまたは通常動作モードに設定することもできますし、（ACまたはDC——）出力優先度を設定。出力周波数（50Hzまたは60Hz）を選択することができる。

5。高変換効率（87%~98%）、低消費電力（スリープモードで1W~6W）。これは、太陽光発電システム用インバータの最良の選択である

6。インバータは、このような密閉型鉛蓄電池、オープン鉛蓄電池、ゲル電池等の電池の8種類を充電することができます。親切に注意してください。リチウム電池も充電することができ、関連するパラメータは、工場で設定される必要がある。

7高充電電力と充電機能が閉じることができる

8。インバータのこのシリーズは、強力な耐荷重能力および過負荷容量を持っている。ピーク電力が定格出力電力の3倍である。例えば、1KWモデルは1HP用空調装置を駆動することができ、2KWモデルは2HPのエアコンを駆動することができ、3KWは3HPコンディショナーを駆動することができます。

9。最新のアメリカの低周波回路設計、ブランドの新しいインポートされた電子材料、純銅変圧器、システムが非常に安定した長寿命であるが（通常の使用で5年以上）を採用

10。パーフェクト保護（過熱保護低入力電圧保護、高入力電圧保護、短絡保護、過負荷保護）

11 °´EMC ´LVD ´RoHS指令認定の承認

12 °2年間の保証と寿命の技術支援。

アプリケーション

軍事、工業、商業、家庭用などのために1バックアップUPSおよびEPSシステム

ユーティリティの欠如された領域に2。取り外し可能なスタンバイ電源

3。オフグリッド太陽光や風力発電システム

3.1。オフグリッド太陽光や風力発電システム

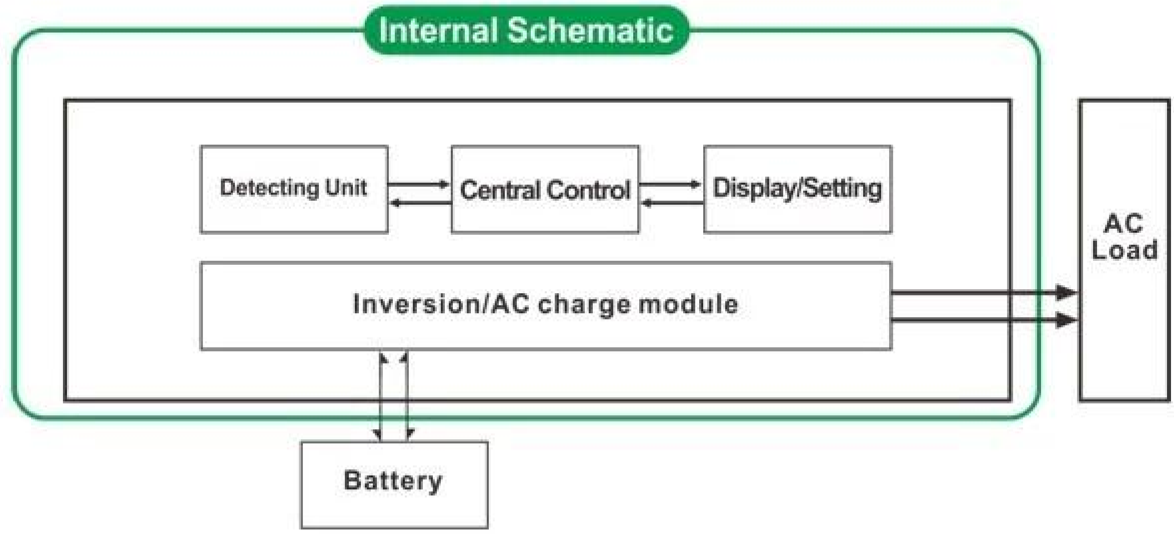
3.2 ° AC最初オフグリッドソーラーや風力発電システム

3.3。まず第一に、GRIのDCD太陽や風力発電システム

上記の応用分野においては、インバータのこのシリーズは、TV、エアコン、冷蔵庫、洗濯機などのすべての誘導負荷の種類、容量性負荷、抵抗負荷に適している。

機能

1.DC/AC変換機能



それは、（パネル上のS-ONにボタンを回し、通常の動作モード（パネル上を "ON"ボタンをオンにする）か、スリープモードに設定することができます

（ON）1.1通常の動作モード：どんなにそれがAC負荷を接続しているのか

インバータは、常に直流を交流に変換します。 LCDインバータの出力電圧を表示する。通常の動作モードにおける電力消費は、スリープモードよりも少し高くなっている

1.2スリープモード（S-ON）に接続AC負荷の電力は、インバータの定格電力の5%未満であると、インバータからの出力はない。そのLCDは0を示している。インバータのチップのみが機能している。インバータの消費電力はわずか1-6Wである。接続されたAC負荷の電力が5%以上であれば、インバータは5秒以内に自動的に負荷に電力を供給するためにACをDCに変換する。そのLCDは何も出力が表示されません。

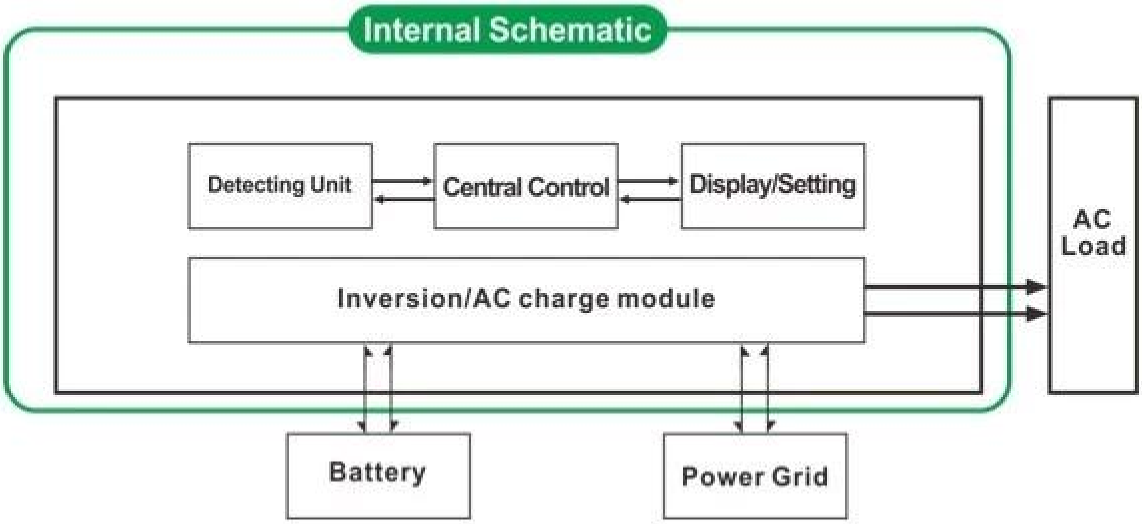
2。ハイパワーインテリジェント充電機能

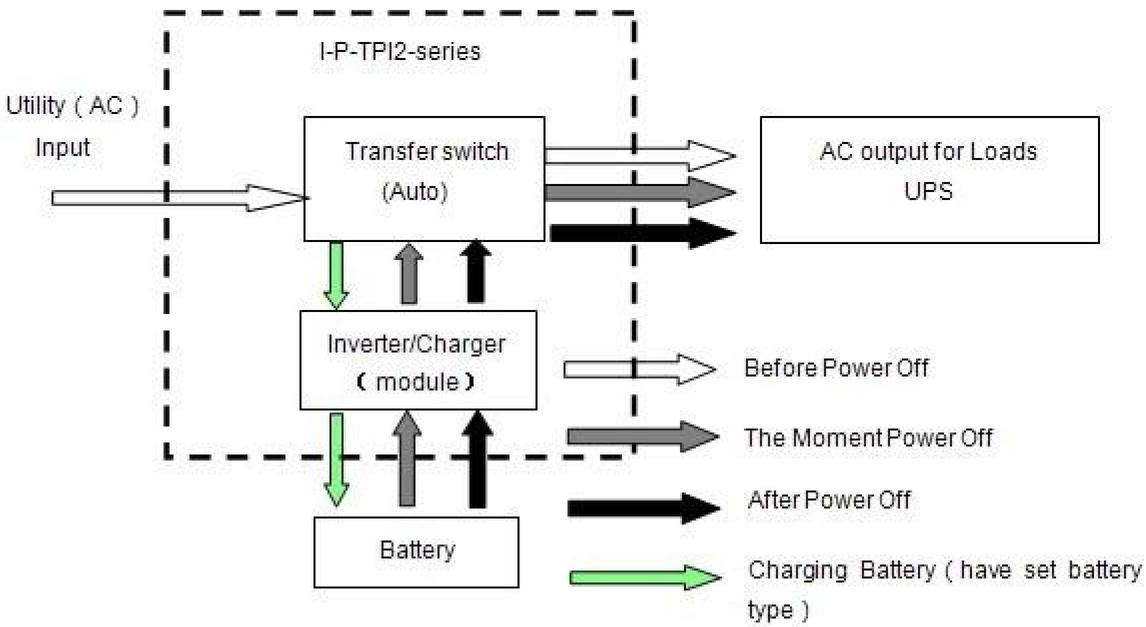
- それは電池の8種類の充電ができます（詳細は、パラメータを確認してください）
- 高い充電電力（詳細パラメータを確認してください）
- 三段充電モード：定電流充電段階（CC）、定電圧充電段階（CV）、段階（CF）を充電フロート

注：バッテリタイプが「0」に設定されている場合には、バッテリを充電し、電流が「0」で充電されないであろう。充電ランプが点灯しません。

3 ◦UPSの機能

これは、最初の最初の（交流第一）のバッテリースタンバイモードまたはバッテリ（直流最初の）ユーティリティスタンバイモードユーティリティとして設定することができます。





ユーティリティ1バッテリのスタンバイUPSのモード（パネルの「AC」のボタンをオンにする）

ユーティリティとバッテリがインバータに接続されている場合、ユーティリティは、前の負荷に電力を供給する。ユーティリティが遮断されると、バッテリは自動的に電力インバータを介して電力を供給し続ける。

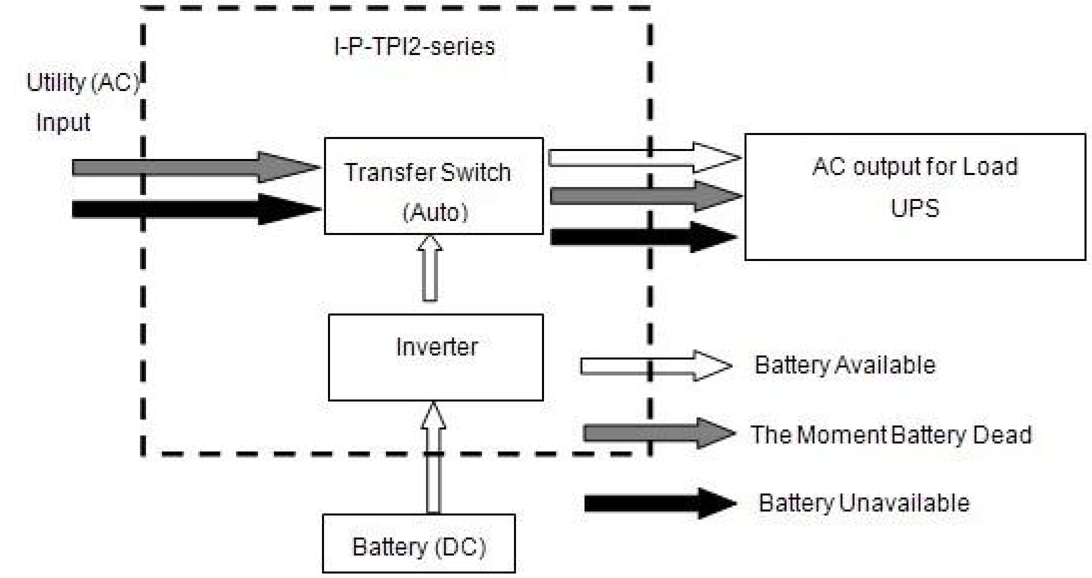
手順は以下の通りです:

ステップ1: ユーティリティが利用可能であるとき、それは直接、同時に充電電池で負荷を駆動する（パネル上の電池式が0にすることはできません）LCDは、AC出力電圧を表示する。

ステップ2: 商用電源が遮断されると、インバータが5msの中に無停電電源を確保するために、自動的にAC電力にDC電源（バッテリー）に変換します。 UPSの機能

ステップ3: ユーティリティが再び使用可能になると、インバータが自動的に負荷に電力を供給して、ユーティリティに転送されます。そしてユーティリティは、同時にパワーインバータを介してバッテリを充電します。

以下のようにワークフローを参照してください。



3.2。バッテリー最初のユーティリティスタンバイUPSのモード（パネル上のボタンに「DC」をオンにする）。

このモードでは、ユーザーがパネル上の「0」～「バッテリータイプ」を設定する必要がある。ユーティリティは、バッテリを充電されません。ユーティリティとバッテリは、インバータに接続されている場合、バッテリの意志 前の負荷に電力を供給する。電池容量がない場合には 十分に、ユーティリティは自動的に負荷に電力を供給していきます。

手順は次のとおりです:

ステップ1: バッテリが十分なパワーを有する場合、それは直接負荷に電力を供給する。

ステップ2: バッテリーは十分なパワーを持っていない場合には、インバータが自動的にロードするためのユーティリティ電源供給に転送されます

ステップ3: バッテリーが完全に（ソーラーや風力充電コントローラなどで）充電された後、自動的に電源インバータを介して負荷にバッテリ電源供給に転送されます。

以下のようにワークフローを参照してください。

パラメーター

モデル パラメーター		1000W
定格出力電力		1000W
ピーク電力		3000W
バッテリー電圧 (DC)		12Vまたは24Vまたは48V (オプション)
サイズW×D×H (mm) の		318 * 218 * 368
梱包サイズW×D×H (mm) の		395 * 275 * 520
正味重量 (kg)		27
総重量 (kg)		29
仕事 モード （設定）	オン	通常の動作モード
	S-ON	スリープモード、1~6時消費負荷の電源を5%定格出力電力よりも高く、それ 自動的に動作を開始します
	オフ	完全にオフ
AC入力	電圧	220V (オプション) 35%110V 35パーセントを±
	周波数	50Hzまたは60Hz

AC出力	電圧	220V±3%または230V±3または240V±3%または100V±3% または110V（オプション）±3%		
	周波数	周波数は、ユーティリティモードで同じです 周波数50Hzまたは60Hz（オプション）での 直流/交流変換モード		
充電ユーティリティ （バッテリー タイプが「0」）AC充電機能が閉じていることを意味する	AC充電電流 （MAX）	12V	24V	48V
		35A	20A	10A
	バッテリータイプ	アメリカのゲルバッテリー、ウール電池1、ウール電池2、シール型鉛酸 バッテリー、欧州ゲルバッテリー、オープン鉛蓄電池、カルシウムバッテリーDE-酸 バッテリーまたはOEMバッテリー		
	充電モード	三段充電: CC ､CV ､CF		
	充電時間	バッテリ容量と量で決まる		
	バッテリ保護	自動検出、充 放電保護、インテリジェントな管理		
UPS 優先	交流	ユーティリティまず、バッテリー スタンバイ		
	DC	バッテリーまず、ユーティリティスタンバイ		
ディスプレイ	表示モード	LCD + LED		
	表示情報	入力電圧、出力電圧、出力周波数、電池容量、負荷条件、ステータス情報		
出力波形タイプ		純粋正弦波		
過負荷能力		> 120%1分、> 130%の10S		
消費電力	スリープモード	1~6W		
	通常モード	1~3A		
変換効率		80パーセント~90パーセント		
転送時間		<5msの（AC ､DC / DCからACに）		
保護		出力過負荷、短絡、高電圧入力、 低電圧入力は、過熱		
環境	温度	-10℃~50℃		
	湿度	10パーセント~90パーセント		
	標高	≤4000メートル		

- 上記は、当社の標準パラメータです。事前の予告なしに変更されることがあります。
- 我々は我々自身の専門のインバータとコントローラのR&Dチームを持っているし、我々は技術的なサポートとOEM ODMサービスを提供しています。

その他の詳細

デザイン、技術文書、ユーザーマニュアル、製品カタログなどの概要を参照してください

研究開発部門は、2014年5月13日に第2版を作りました。